

第2回 札幌市シティプロモート戦略会議 開催結果概要

1. 開催概要

日 時 平成 22 年 9 月 1 日 (水) 16:00~18:00

開催場所 札幌すみれホテル 4階すずらん

出席者 ファッションプロデューサー / 札幌コレクション実行委員長 佐々木 大輔
東京大学大学院 客員研究員 杉山 幹夫
SODA 代表 曾田 雄志
放送人の会幹事 / STV 役員待遇メディア・プロデューサー室専任局長 林 健嗣
(株)コスモメディア編集局 局長 兼 「poroco」編集長 八木 由起子
<事務局>
札幌市 市長政策室 プロジェクト担当部長 西野 守彦
" 課長 北川 憲司
政策企画部 企画課 企画担当係長 中嶋 俊輔
企画担当 川上 竜矢
(株)KITABA 東村、宮崎、吉田
(有)3KG 佐々木 (敬称略)

2. 議事 委員の発言の併記であり戦略会議の一致事項ではありません

情報発信

- ・ 現状では、市民が捉えている札幌と、観光客などの外部の人が捉えている札幌に違いがある。
- ・ 市民と外部の人の札幌に対する認識が一致させることが重要である。
- ・ 札幌市の広報は、取り上げる物事の成り立ちや歴史を発信することが大切である。その物事が時間軸の中で成長や派生を続けてきたことを市民が知れば愛着や誇りがうまれるのではないか。
- ・ コストをかけない情報発信を行うことも可能であり、経済情勢などを考慮すると重要な考え方である。マスメディアには強い訴求力があるが、コスト面から継続して発信することは難しい。
- ・ これからの行政は民間に資源(場)を貸す時代ではないか。必ずしも行政が自ら資金を出して事業を行う必要はない。
- ・ これからのプロモートは人のつながりが軸になるのではないか。誰から誰にボールを渡して、そのボールは誰に広がるのか。具体的なプロモートが必要とされる。
- ・ プロモートには差別化が必要となる。各都市の取組みがどんぐりの背比べになってきて

いる状況で、札幌が注目すべきものを見つける必要がある。

- ・ 札幌が北海道の富を集めていることは、周知の事実だと思う。それであれば、札幌は北海道のPRをすべきである。
- ・ 市長のトップセールスも重要である。具体的に何を行うのかを伝えて、他とは違うことを行い、相手にきちんと覚えてもらう必要がある。たくさんの首長と一緒に出かけ、同じようなことを言っても、先方には覚えてもらえないのではないか。

札幌の特長

- ・ 会費制の結婚式や、様々なシーンでジンギスカンを食べることなど、札幌の生活文化は本州と異なる点がある。大陸的ともヨーロッパ的ともとれる札幌の生活文化が外からも魅力的に感じるのではないか。
- ・ 観光客にとっては、小樽も旭山動物園も札幌圏である。札幌の周辺都市を含めて札幌の魅力が形成されている。

シティプロモートの推進（官と民の連携）

- ・ プロスポーツ団体は認知度が高く地域に一つしかないこともあり、一定の公共性を有する性格を持つ。この公共性を効果的に活用して、スポーツ団体認定のブランドや楽曲などを作り出すことにより、業界を超えたネットワーク構築や、業界内の競争促進などにつながるのではないか。
- ・ 北海道や札幌市などの行政が地域を応援する企業を認定する仕組みがあると、民間企業は活動の幅を広げることができる。補助金を出さなくとも民間企業を応援する方法はあるのではないか。
- ・ 行政が民間を守りすぎると良くない。本当に強いものは守られていないところから生まれることが多い。
- ・ お金を集めて何か事業を行うのであれば、民間が独自に行うのが良いのではないか。

市政について

- ・ 観光客を増やす、居住者を増やすなど、札幌市全体がまちの将来像を共有することが重要である。現状では市職員が自分たちの目標をイメージできていない可能性がある。札幌市の事業は担当者のセンスに頼るところが大きく、担当者が変わると方針が変わってしまうことがある。
- ・ 居住、観光、スポーツ、経済など異なる分野同士を連動させて検討する必要がある。
- ・ 札幌市も何かの的を絞りプロモートを行った方が良い。例えば、複数の部局の職員がまとまって交渉を行うなど、相手が本気になってくれる方法を考えてはどうか。

- ・ 北海道に支えられている札幌市は、北海道全体を応援すべきである。道内都市は札幌に買ってもらえて感謝するし、札幌市民は北海道産を大事に思えることが大切だと思う。札幌が全道を応援すれば、全道が札幌を応援してくれるのではないかな。
- ・ シティプロモートにとって市職員が貴重な財産であり原資である。職員一人一人が札幌を PR することを事務分掌に取り入れるなど、庁内の体制を整えてほしい。これからの市職員は、自分の事務仕事に加えて、自分たちの PR を行い市民を納得させることを進めてほしい。
- ・ 税収が落ち込んでいる状況下において、税金を効果的、効率的に使う体制を真剣に考えてほしい。

シティプロモートのゴールについて

- ・ 皆が地域愛を持っている。まちを愛しそれを伝えることがシティプロモートのゴールになるのではないかな。それが自治と自立の力につながる。札幌を愛して 100 年続くまちをどうつくっていくのかを考えることが大切だと思う。